

CSR WAKAYAMA

Corporate Social Responsibility
企業と地域を結ぶ情報誌

CONTENTS

01 企業の森 Topics

「企業の森」シンボルマークを作成！
現在、27の企業・団体が参画！
「企業の森」による経済波及効果を試算
経団連自然保護協議会が「企業の森」を視察



03 CSR Report

「企業の森」参画企業・団体の最新情報

11 Local Voice

県内各地域からの最新情報



CSR WAKAYAMA Information

「紀州材・家づくりフェア」を開催！

紀州材を使った木造住宅について、消費者のみなさんにPRを行うとともに、紀州材の生産者と地域の工務店や建築設計士とのネットワークづくりを目指して、下記のとおり「第二回 紀州材・家づくりフェア」を開催します。

会場 和歌山マリーナシティ 多目的ホールWAVEと前広場
開催日時 平成19年11月23日(金)～25日(日)
10:00～17:00 ※最終日の終了は16:00
主催 紀州材・家づくりフェア推進協議会
後援 和歌山県、国土交通省、林野庁 (予定)
開催内容

①紀州材の紹介とPR ②紀州材木造住宅関連展示PR ③中小工務店の取り組み紹介 ④和歌山の技能、住建材・素材の紹介とPR ⑤住まいの相談会の実施 ⑥生活空間関連製品の展示 ⑦和歌山産品の展示即売 等

紀州材・家づくり関連イベント

和歌山の木工、産品等オークション、木の家をつくるセミナーとビンゴゲーム、チェンソーカービング実演、親子で楽しむ木工教室と和歌山の技能の実演、丸太切り・丸太重さびったり大会、ガーデニングセミナーと寄せ植え教室、スタンブラリー 他

集客イベント

愛知万博で大好評のワールドグルメがやってくる

韓国、中国、ベトナム、タイ、インドなど8カ国の代表料理が集合

和歌山産品ほんまもん市場

梅干し、寿司、和菓子、漆製品、木工製品、みかん、ジュース、和歌山ラーメン、たこ焼き、熊野牛の試食等

先着100名家族に和歌山鶏卵プレゼント

ガンダムフィギュア等即売

※以上予定



紀州材の活用企画を募集！

紀州材トーカー・プロモーションの実施について

和歌山県では、東京を中心とした首都圏において、紀州材のPRを行うため、企業や学校法人、まちづくり団体などが行うアイデアと話題性に富んだ「紀州材」の活用に関する取り組みを募集しています。



紀州材の新たな消費拡大を喚起するようなモニュメンタルな施設整備などを行った場合、最高1,000万円を和歌山県が補助するものです。

事業のイメージとして、都心に立地する社屋、大型ショッピングセンター、空港、駅などのターミナルでサインやモニュメント、デッキなどの整備を行う場合。また、学校教育施設において、木製備品、床や壁の木質化に取り組む場合。このほかまちづくり団体などが、都市の景観保全、商店街や中心市街地の活性化などに紀州材を利用する場合などを想定しています。

いずれの場合も、広く一般に対して、強度性能や色合いなどに優れた「紀州材」の魅力についてPRを行うこと、平成19年度中に完成する施設であることが条件です。

事業に係る木材費と木工費を和歌山県が補助します。補助率は10分の10で、予算総額は1,000万円。測量設計費、デザイン費用、基礎工事等は含みません。

お問い合わせ先

和歌山県庁 林業振興課 木材振興班
TEL073-441-2964 FAX073-433-1037

「企業の森」環境保全活動を認証！



和歌山県では、「企業の森」への参画を促すとともに、森林県である本県の地域特性を活かした地球温暖化対策を推進するため、「企業の森」により吸収する二酸化炭素の量を算定するなど参画企業の環境保全貢献を評価することを目的に、本年6月より「和歌山県森林による二酸化炭素の吸収等環境保全活動認証事業」をスタートさせました。

この認証事業は、本年3月に制定された「和歌山県地球温暖化対策条例」(H19.9施行)においても、排出削減計画の提出を義務付けられた温室効果ガス多量排出事業者について、補完的措置としてこの認証した吸収量を削減量としてカウントできるようにしているほか、森林の公益的機能や世界遺産登録地周辺での景観保全、また地域との交流や地域の活性化など、社会貢献度を考慮して評価することとしています。

6月の第1回目の認証では、14の参画企業・団体から申請があり、「認証書」と「木製認証プレート」を交付しました。

お問い合わせ先

和歌山県庁 環境生活総務課 温暖化対策推進班
TEL073-441-2690 FAX073-433-3590

和歌山県「企業の森」
参画企業・団体の情報を一挙掲載



発行：和歌山県 森林・林業局 森林整備課
〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2982 FAX 073-432-5850
E-mail kig-mori@pref.wakayama.lg.jp

企業の森ホームページ http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070700/kig_mori/kig_mori.html

2007.10



環境に優しい大豆油インクと古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。



和歌山県 企業の森



「企業の森」による経済波及効果を試算

和歌山県では、この事業の独自性をアピールすることは勿論、県民の理解・協力が不可欠であることから県民への事業の実施効果を明確にするためこの事業の実施がもたらす経済波及効果について調査を実施しました。

本調査では、企業(団体)が和歌山県内で森林保全活動を実施する場合においてこれに付随する地域との交流イベントや県内観光にも着目し企業(団体)の県内への直接投資額を基本に効果額を推計しました。

調査の結果、平成19年3月現在、「企業の森」に参画している27企業・団体がそれぞれ10年間(延べ14年間)和歌山県内で森林保全活動を実施した場合の経済波及効果額を約18億6,000万円と推計しました。

「企業の森」シンボルマークを作成!

本誌の創刊にあわせて、「企業の森」シンボルマークを作成しました。企業の森に参画している「企業」とその受け皿となる「地域」。さらにその両者を支援する「和歌山県」を3つの山並で表現。その三者が一つの大地で育む『企業の森』をシンボルマーク化しました。

「企業の森」参画企業・団体の様々な最新情報を一斉に掲載!

和歌山県の「企業の森」については、本県の事業がその先駆的事例として全国的に認知されてきました。

この度和歌山県では、現在、国内の多くの自治体において同様の取り組みが開始される中で、本県「企業の森」を今後も更に継続的、発展的に推進していくため、県内でこの「企業の森」を活用してCSR・社会・環境貢献活動を実施している企業・団体はもちろん、県内各自治体や森林組合、そして県の最新情報を一斉に掲載した情報誌「CSR WAKAYAMA」を創刊しました。

この情報誌は、各企業・団体、地元市町村、森林組合、和歌山県相互の情報交換の場として、「企業と地域を結ぶ情報誌」を目指し、毎年春と秋の発行を予定しています。

県では、この情報誌を全国発信ツールとしても活用し、新たな参画企業・団体の誘致に繋げていきたいと考えています。

今後、更に内容を充実していきますのでご期待ください。

- ### 企業
- ①大阪ガス株式会社
「大阪ガスの森」 H17.3～ 田辺市1ha
 - ②日本たばこ産業株式会社
「JTの森 中辺路」 H17.3～ 田辺市 50ha
 - ③全日本空輸株式会社
「私の青空 関西空港・高野山ゲンジの森」 H17.4～ 高野町 0.5ha
 - ④住友金属工業㈱和歌山製鉄所
「住友金属和歌山の森」 H18.2～ 田辺市 2.5ha
 - ⑤イオン株式会社、(財)イオン環境財団
「イオンの森 調月」 H17.10～ 紀の川市 36ha
 - ⑥サントリー株式会社
「サントリー「天然水の森 湯の峰」 H18.4～ 田辺市 4.1ha
 - ⑦東京海上日動火災保険株式会社
「東京海上日動の森」 H18.4～ 紀美野町 1.1ha
 - ⑧セイカグループ
「セイカの森」 H18.4～ 日高川町 1.2ha
 - ⑨紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合
「紀陽の森」 H18.4～ 日高川町 1.3ha
 - ⑩東洋紡績株式会社
「東洋紡みらいの森」 H18.4～ 日高川町 0.8ha
 - ⑪積水ハウス株式会社
「積水ハウスの森」 H18.4～ 田辺市 2.6ha
 - ⑫松下電工株式会社
「松下電工・田辺龍神「ながきの森」」 H19.4～ 田辺市 20ha
 - ⑬株式会社NTN紀南製作所
「NTN紀南 牟婁「和」の森」 H19.2～ 上富田町 1ha
 - ⑭花王株式会社和歌山工場
「花王の森 紀美野」 H19.4～ 紀美野町 0.7ha
 - ⑮東宝建設株式会社
「感謝の森」 H19.3～ 田辺市 0.7ha
 - ⑯住友信託銀行株式会社
「住友信託銀行「しんたくんの森」」 H19.4～ 日高川町 0.8ha

- ### 和歌山県「企業の森」参画企業・団体 (27企業・団体136.9ha)
- ※年月は活動開始年月
- #### 労働組合
- ①ユニチカ労働組合
「ユニチカの森林」 H15.3～ 日高川町 2ha
 - ②関西電力労働組合
「関西ふれあいの森」 H16.2～ 田辺市 1ha
 - ③日本労働組合総連合会和歌山連合会
「連合和歌山の森」 H18.3～ 日高川町 1ha
 - ④ダイキン工業労働組合
「ダイキン工業労働組合の森」 H18.4～ 田辺市 1.4ha
 - ⑤紀州製紙労働組合
「紀州労組 虹の森」 H19.3～ 那智勝浦町 0.4ha
- #### その他の団体
- ①森林ボランティア団体
「ゲンジの森」 H16.4～ 高野町 0.2ha
 - ②NPO法人和歌山野球振興協会・夢クラブ
「野球の森」 H16.4～ かつらぎ町 1ha
 - ③NPO法人原風景
「原風景の森」 H16.4～ かつらぎ町 0.5ha
 - ④ロータリークラブ
「ロータリー 100年の森林」 H16.5～ 高野町 3ha
 - ⑤高野熊野世界遺産連絡会
「空海の森」 H18.4～ 田辺市 1ha
 - ⑥社団法人和歌山県宅地建物取引業協会
「宅建の森」 H18.11～ 日高川町 1.1ha

現在、27の企業・団体が参画!

和歌山県の「企業の森」には、現在27の企業・団体が参画し、県内でそれぞれ森林保全活動に積極的に取り組んでいます。

各企業・団体の取り組みでは、森林保全だけでなくとどまらず、山村体験や温泉をはじめとする地元地域の観光などを通じて地域の人たちとの交流も積極的に行っています。

まさしく都市と地方の交流が実現し、地元地域の人たちの評判も上々です。

経団連自然保護協議会が「企業の森」を視察

日本経済団体連合会の特別委員会、自然保護協議会会員21人が7月4日、「企業の森」事業の視察に田辺市中辺路町・本宮町を訪れました。

大久保尚武会長(積水化学工業社長)ら一行を出迎えた仁坂知事は「熊野古道館」で、倉尾伊佐男会長(中辺路町観光協会)と熊野古道の歴史を解説。

その後、世界遺産「熊野参詣道」沿いの「おのき茶屋」で熊野の自然と歴史などについての解説と懇親会を行い、そのなかで、岡上哲三組合長(中辺路町森林組合)が「企業の森」事業に参加している企業は本場に一生懸命に作業をしてくれ、企業が来てくれることで地域振興になり、非常にうれしく思っています」と話しました。

また、大阪ガスとダイキン工業労働組合の「企業の森」を視察し、一行は県の解説に熱心に聞き入っていました。

大久保会長はこの企業の森事業はとて面白い事業。自然保護を考えるうえで直接自分の手で自然に触れることが重要。また、子どもの頃から自然に親しみ身近に感じてもらうような取り組みを行ってほしい」と今後の展望を話されました。

森林保全活動

「大阪ガスの森」

ボランティアによる下草刈り活動を実施
大阪ガス株式会社

和歌山県の推進する「企業の森・労働組合の森」に参画し、労働組合とともに森林保全活動に取り組んでいます。2005年3月、世界遺産・熊野古道に近接する紀伊山地の山林に広葉樹の苗木2,600本を植樹し、毎年夏には従業員やその家族が参加して下草刈り作業を行っています。

今年も大阪ガスと大阪ガス労働組合の共催で下草刈りボランティアを募り、8月12日(日)に実施しました。小雨が降る中での作業になりましたが、参加した62名のボランティアは、大きく成長した苗木を愛しむように、一生懸命作業に取り組み、心地良い汗を流しました。

URL

<http://www.osakagas.co.jp/philosophy/csr.html>



Voice 川端 誠さん (いきいき市民推進室)
藤岡 康高さん (大阪ガス労働組合)

2005年3月にボランティア約70名で植樹した木々は、太陽の光をいっぱい浴びてすくすくと順調に成長しています。今後も、中辺路町森林組合様など地元の皆様のご協力をいただきながら、育林活動に取り組んでいきます。

ひろえば街が好きになる運動

日本たばこ産業株式会社

8月19日に和歌山で開催された「第4回紀州よきこい祭り」において、JTと和歌山たばこ商業協同組合共催で「ひろえば街が好きになる運動」を実施しました。この運動は「こみ」を「ひろう」という体験を通して、「すてな」の気持ちを育てたいという願いを込めて、全国各地の祭事で行っている市民参加型の清掃活動です。当日は約400名の来場者の方に参加いただき、「踊った後でしんどかったが、良いキャンペーンだと思います」などの声が寄せられました。



Voice 橋本 好司さん (大阪支店 業務部)

おかげさまで植林/森林保全活動「JTの森 中辺路」は3年目となりました。和歌山県、田辺市および中辺路町森林組合という素晴らしいパートナーの一体となった支援があってこそと感謝しています。

URL <http://www.jti.co.jp/JTI/Welcome.html>

廃プラスチックのサーマルリサイクル



住友金属和歌山製鉄所では、省エネルギーやリサイクル分野を積極的に推進しています。その一環で、廃プラスチックを熱源として有効利用することにより製鉄業から発生するダストから有価金属の回収・省エネルギー・CO₂排出量低減を実現させています。また、産廃プラ以外に和歌山市から委託を受け、市民生活より発生する一廃プラの処理にも取り組み資源循環型社会の構築に貢献しています。

Voice 飯田 利道さん (住友金属和歌山労働組合)

組合結成60周年の記念事業で始めた中辺路近露での森林育成・保全も2年目に入り、年に2~3回、下草刈りや地域との交流を活発に行っています。参加者は、初めての経験であり、自分たちが植樹した苗を大切に守りながら周りに生えた雑草を刈っています。私たちはこうした活動を通じ地球環境を考えるとともに、地域のひととの交流や文化に触れる活動を継続していきます。

URL <http://www.sumitomometals.co.jp/environment/>

買物袋持参運動

イオン株式会社

1991年に始まり、お客様とともに16年間続けている買物袋持参運動。「マイバック、マイバスケット」の推奨、「買物袋スタンプカード」による運動強化、「適量配布」などにより、2006年度には17,469万枚のレジ袋を削減しました。これは石油ドラム缶(200ℓ)約15,984本分の節約です。

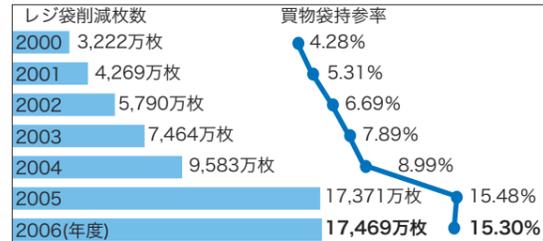
Voice

西日本カンパニー 総務部 社会貢献グループ

2007年1月からレジ袋の削減をさらに前進させるためにレジ袋無料配布中止を含むレジ袋提供方法の見直しの実証実験を行っています。行政並びに、市民団体の皆様と連携し、市民の皆様のご理解をいただける地域から順次実施していきます。



レジ袋削減枚数と買物袋持参率の推移(イオン株式会社の場合)



URL <http://www.aeon.info/environment/>

マングローブ植林プロジェクト

東京海上日動火災保険株式会社

東京海上日動では、東京海上の創業120周年記念事業の一環として、1999年から東南アジア5カ国におけるマングローブ植林事業を開始、2004年3月末までの5年間で目標の3,000haを超える、3,444haの植林を実施しました。

また、2004年から新たに南太平洋のフィジーを対象国に加え、5年間で2,000haの植林を行う第二期プロジェクトを進めています。

Voice 濱野 正之さん (和歌山支店業務グループ)

2005年から「企業の森」に参加しています。一昨年は植林、昨年は草刈りと家族全員で自然とのかかわりあいを楽しんでいます。これからも自然環境保護を少しでも多く意識し、家族みんなで活動したいと思います。



URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>



水とともに生きる

サントリー株式会社

お客様に水の恵みをお届けするサントリーにとって、地球環境そのものが大切な経営資源です。生産現場では、CO₂削減、省資源・省エネ・節水活動の推進、副産物・廃棄物の100%再資源化などに加えて工場内の緑化活動にも力を入れています。また、清らかな水を守り、良質の水を自然界に返すことは、「水とともに生きる」企業としての重大な責任と考え、サントリー「天然水の森」と名づけた水源涵養活動を和歌山県田辺市など全国9カ所で展開しています。

Voice CSR・コミュニケーション本部 環境部

これからも「人と自然と響きあう」持続可能な社会を目指して、環境保全活動に積極的に取り組んでいきます。

URL <http://www.suntory.co.jp/eco/forest/index.html>



富士山火山荒地で植林活動

松下電工株式会社

富士山の斜面には森林限界以下であっても溶岩などの砂礫地のため樹木がほとんど自生していない地帯があります。そこでは雪崩などが起きると斜面ごと大きく崩落する被害が発生してしまいます。このような崩落を防ぐため、当社と当社労働組合は協働で、この地に緑を増やす活動を2003年より始めました。毎年継続して実施しており、これまでに延べ558名の社員やその家族が参加し、植林および竹柵の設置(風から苗木を守るために必要)などを行っています。今後もこの活動を通して社員の環境意識啓発を図るとともに富士山の自然保護に少しでも貢献したいと思っています。

Voice 加藤 康浩さん (環境推進部)

慣れない道具を使ったり、足元の悪い斜面を登ったりと、きつい作業もありますが富士山の自然に触れると参加者もみんな笑顔になります。今後も沢山の社員に参加してもらい自然を大切に育てていきたいと思っています。

URL <http://www.mew.co.jp/corp/csr/>

自然と調和する「5本の樹」

積水ハウス株式会社

積水ハウスでは、地元森林組合や地域の皆様の協力をいただきながら、2006年4月より田辺市中辺路で植林や下草刈りを行っています。本業の住宅事業に関連し、庭や街路に地域の自生種や在来種を植えることで庭と地域の自然が調和し、生態系保全にも役立つ「5本の樹」と名づけた造園・緑化を進めており、当地での樹種の選択についても、地権者のご理解をいただき、トチ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹を中心に植栽しています。



Voice 佐々木 正顕さん (環境推進部)

活動は和歌山支店のメンバーを中心に、当社等の有志も参加しています。先日は森林組合の皆様が当社本社(大阪市北区)横に作った「新・里山」(約8,000㎡)の都市緑化を見学くださるなどの嬉しい交流も生まれています。

URL <http://www.sekuihouse.co.jp/sustainable>

森の中の工場づくり

花王株式会社和歌山工場

花王和歌山工場は、「森の中の工場づくり」をスローガンに工場内緑地の質的向上に取り組んでいます。緑地の一部は江戸時代からの防潮林で和歌山県の史跡に指定されており、大切に管理されています。そのような活動が評価され、2005年には「社会・環境貢献緑地」として認定されました。「社会・環境貢献緑地評価システム」は、政府の環境基本計画に位置づけられている企業の優れた緑化活動を評価認定する制度です。現在、全国の15緑地が認定されています。

Voice 米元 考博さん (環境グループ)

花王では、平成12年より、環境保全活動として『花王・みんなの森づくり活動』にも取り組んでいます。今回、新たに活動を開始する「花王の森 紀美野」の保全活動も合わせ、今後さらに幅広い森林保全活動を展開していきます。

URL <http://www.kao.co.jp/corp/csr/index.html>



Voice 中林 勝己さん (総務部)

「企業の森」活動もその一部ですが、化学に携わる企業として、社会や環境に貢献している一端を、本紙面を通じて紹介していきます。



URL <http://www.waseika.com>

化学の技術で省資源を

セイカグループ

(セイカ株式会社、和歌山精化工業株式会社ほか)

創業以来、世界トップクラスの黄色系顔料の中間体メーカーとして発展してきたセイカグループですが、近年では、パソコン、携帯電話や薄型テレビ等の電子機器の小型化・薄型化・高機能化、さらに航空機や自動車等の軽量化・燃料低減に貢献する高機能性ポリマー原料の開発にその培ってきた技術を結集して、地球環境や省資源に寄与しています。



国内最大の海水淡水化施設でも活躍する、逆浸透膜技術

東洋紡績株式会社

地球上にある約14億km³の水のうち97%は海水で、淡水はわずかに約3%。従来の海水淡水化技術は、海水を沸騰させて海水で冷やす「蒸発法」。当社は、1972年ごろから逆浸透膜の開発に着手し、一段法で海水を淡水化可能な逆浸透膜モジュールの商品化を世界で初めて成功しました。必要なエネルギーは蒸発法の約18分の1で、海水淡水化プラントの省エネに貢献し、現在、世界各地のプラントで活躍しています。

Voice 福井 富久子さん (環境・安全部)

今、人類は地球温暖化という危機に直面しています。植樹は、低炭素社会に向けて、私たちがやらなければならない行動のひとつです。昨年「企業の森」に参画し、植樹の機会を得ましたが、CO₂の削減とともに、多くの様々な効果があります。社員のボランティアの場としても、楽しんで活用していきたいと思っています。



URL <http://www.toyobo.co.jp/eco/>

環境に配慮した活動に取り組む

紀陽銀行・紀陽銀行従業員組合

当行では、環境問題への関心が高まるなか、平成13年3月に環境に関する国際規格であるISO14001に認証を取得し、八環境にやさしいクリーンな銀行を目指すというスローガンのもと、省資源に向けたエコオフィスや地域の美化活動を通じ、全従業員が環境に配慮した活動に取り組んでいます。そして、地域社会の一員として私たちの地元である和歌山県に少しでも貢献したいという思いから、平成18年4月より「企業の森」事業にも参画させていただき、「木の国」和歌山県の森林保全活動に取り組んでいます。また、金融機関として地域の環境事業への積極的な支援も行っており、今後も当行では環境に配慮した活動を積極的に推進します。

Voice 中嶋 崇裕さん (経営企画部)

実際に現地での植栽等の活動に参加してみると、和歌山県は本当に自然に恵まれたふるさとであるということを実感します。この豊かな自然を次世代に残していくためにも、この地道な活動の輪を広げていきたいと思っています。

URL <http://www.kiyobank.co.jp/regionalactivities/>





エコライフ21・地球温暖化対策行動月間(6~9月)

日本労働組合総連合会和歌山県連合会

連合和歌山では、6~9月を「エコライフ21・地球温暖化対策行動月間」として取り組みました。具体的には、①「連合和歌山の森」の下草刈りを通じた地球環境問題への取り組み②「列島クリーンキャンペーン」活動として、県内8カ所の地域協議会での海岸清掃、神社清掃、国道清掃等の取り組み③夏季軽装(エコスタイル)運動として、ノーネクタイ・ノー上着と室内温度28度に設定することの3点に取り組みました。

Voice 阪上 貴史さん(連合和歌山)

連合和歌山加盟の皆さんが協力をする県内全体でのクリーンキャンペーン活動が、各地域の方の環境への問題意識向上に繋がればと思います。

私自身、環境と健康のことも考えて自転車で通勤していますし、エコバックなんかも持ち歩いていますよ。

URL <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

『関労ふれあいの森』事業 4つのコンセプト

「組合らしさ」「電力らしさ」「社会からの共感」「記憶に残り、次につながる活動」

関西電力労働組合

労組結成50周年記念事業としてスタートした「関労ふれあいの森」。組合員参加型の活動も早4年、これまで約1800名の組合員と家族に参加してもらいました。4つのコンセプトを感じてもらえるよう森林保全としての下草刈りの他、「熊野古道」の道普請(修復作業)、世界遺産の景観保全に資する田植え・稲刈りなどの体験もまじえ、多くの方々にお世話になりながら、地元の皆様のご協力に支えられて楽しく社会貢献活動を行っています。



Voice 藤原 正宏さん(組織対策局)

「関労ふれあいの森」事業では、4つの基本コンセプトに加えて「組合員同士・組合員と家族とのふれあい」、「地元の皆さんや自然とのふれあい」、「世界遺産に指定される熊野の歴史・文化とのふれあい」も大切に活動しています。



Voice 奥田 昭さん(中央執行委員)

『ダイキン工業労働組合の森』(田辺市中辺路町)は「熊野古道」や熊野本宮大社にも近く、豊かな自然の中での若手組合員研修やファミリーキャンプなどを実施し、仲間や家族とのコミュニケーションを図っています。

ダイキン工業労働組合
ダイキン工業労働組合の環境問題(地球温暖化)への対応は、より多くの組合員とその家族が環境問題に関心を持ち、ライフスタイルの見直し等に取り組み環境を広げる「エコライフファミリー運動」に取り組んでいます。独自の『環境家計簿』で、家庭での電気・ガス・水道等の使用量をCO₂排出量に換算し、地球温暖化への関心を高める取り組みです。そして、昨年4月『労組の森』に参画。組合員と家族が自然の中に森づくりに汗を流しています。

環境家計簿

項目	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
電気	1000kWh												
ガス	1000kWh												
水道	1000kWh												
CO ₂ 排出量	1000kg												

住宅に緑を提案

東宝建設株式会社

県が進める「企業の森」事業を活用し、森林保全活動を実施することになりました。「感謝の森」の活動は今後10年間に渡り広葉樹を育成していく森林保全活動となります。田辺市における社会貢献環境改善活動として森林の保護に取り組み社員とその家族のボランティア活動、環境保全の意識啓発の場として活用していくためです。その一環として戸建住宅では緑庭園を取り入れています。



住宅の緑化は景観を良くするとともに、建物の断熱性、熱環境対策、温室効果ガスを低減させるメリットがあります。

Voice 谷川 裕久さん(管理部)

ISO 14001:2004に基づいて、建築現場での環境側面 大気・水質・土地・資源の有害な環境影響を長期スパンで緩和・低減させていく方針です。

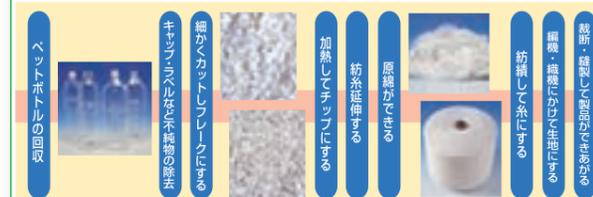
ペットボトル回収運動

ユニチカ労働組合



ユニチカでは回収ペットボトルから、再生ポリエステル繊維「ユニエコロ」や再生ポリエステル不織布シート「エコミック」を生産しています。使用済みペットボトルは、最近では海外に流出してしまう場合が多いのが実情です。そこで2007年1月から自社の各事業所でも社員や家族が協力し、使用済みペットボトルを直接回収し、洗浄・分別して処理メーカーでフレックにしたものを、岡崎事業所で原料として活用する運動を展開しています。

ペットボトルが生まれ変わるまで



Voice 河野 勇さん(購買物流本部 購買部)

ペットボトルの回収にともなう事業所間の輸送は、通常の業務便にできるスペースを活用し無駄なエネルギーをかけない工夫をすることで、環境にも優しくコストも抑えられる取り組みとなっています。

URL <http://www.unitika.co.jp/environment/>

地球環境保全に努力

住友信託銀行株式会社和歌山支店

当社はCSRを重要な経営課題ととらえています。なかでも「環境配慮活動」は最も重要な事項のひとつであり、これまでも「国連環境計画・金融イニシアチブ」への信託銀行初の署名や、「チー・ムマイナス6%環境省が提唱する地球温暖化防止活動」に参加し、環境配慮型の金融商品の開発や、オフィス環境向上に努める等積極的に取り組んでいます。今回の「企業の森」事業参加もこの一環であり、今後も地球環境保全に努めてまいります。

Voice 大西 恵さん(和歌山支店 営業課)

私たちは「しんたくんの森」の植栽イベントに参画することで、森林保護の大切さを学びつつ、CSRに貢献できた喜びを分かち合うことができました。豊かな未来のためにこの活動の輪を広げていきたいと思っています。



URL http://www.sumitomotrust.co.jp/IR/company/individual/close_up/csr.html

世界遺産「空海の森」

高野熊野世界遺産連絡会



高野熊野世界遺産連絡会は、熊野古道沿いの森林を「空海の森」として整備しています。個人では難しい世界遺産地域への植樹を通して、空海やその精神性とより深いつながりを深め、また、参加者にはプレートにお名前を残していただくことで世界遺産の環境保全への貢献を形として残していきます。世界遺産の大切さをより身近に実感できる場所として、また、市民レベルで地球環境について考え、実行する場所として「空海の森」が広く活用されますことを願っております。

熊野古道沿いの今の荒れたこの森林が、緑におおわれるであろう5年先、10年先が楽しみです。

参加者からのお手紙
植樹とそう初めての体験をし、何かほのぼのとした心になり、よい思い出になる旅でした。何時かまた緑の思いになる旅へ行きたいです。
千葉市 女性

Voice 玉置 公良さん

植林を通じ、空海やその精神性とのつながりが深まり世界遺産保全・地球温暖化防止に貢献できます。

URL <http://www.aikis.or.jp/~wkk-isan/>

ロータリー 100年の森林

ロータリークラブ

大阪南部と和歌山県下(国際ロータリー第2640地区)のロータリークラブが、「ロータリークラブ創立100周年」を記念して2004年5月から植樹を始めました。この事業は高野町の内子谷という有田川の源流域の国有人工林伐採跡地、3.1haを借り受けて和歌山県の緑化推進会と協働のもと、3カ年で八樹種の落葉広葉樹を2,424本、植えました。現在は下草刈りなどの育林作業を行っています。

目的は会員相互の交流と親睦の場、人との生物の共生できるモデルとなる森林づくり、保水力の高い森林づくりによる環境保全などです。

Voice 亀岡 弘昭さん (国際ロータリー第2640地区 環境保全委員会)

この「森林づくり」を行うことにより地区のロータリークラブ・会員間の友情の深まりと、社会奉仕・環境保全活動において地区内のロータリアン以外の皆さんとの協働の必要なることを体感しています。



URL <http://www.rotary.org/languages/japanese/>

CSRを積極的に

社団法人和歌山県宅地建物取引業協会

私たちの協会は、昭和35年に和歌山県より許可を受けた公益社団法人です。宅地建物取引業の適正な運営の確保と健全な発達を図るため、県下900名強の会員に対し指導や連絡に係る事業を行うとともに、宅地建物取引における各種無料相談をはじめとする、購入者等の利益の保護や宅地建物の流通の円滑化を図ることを目的とする事業を実施しています。

また、「企業の森」をはじめ「外国人留学生に対する賃貸住宅の斡旋支援」「災害時における住宅支援」などのCSR活動にも積極的に取り組んでおります。

Voice 森 久万夫さん

「企業の森(宅建の森)」では、去年植栽した苗の育樹活動として約70名(うち中国からの留学生1名)による雑草の下刈りを行いました。今後も苗の生長を願い、未来へつなげる環境活動に貢献していきます。



環境負荷の低減に努力

紀州製紙労働組合

当社の主力製品は色上質紙及び情報用紙などで、木材よりつくられたパルプを原料として使用しています。また、近年では新聞古紙などから古紙パルプを製造して使用しています。エネルギーは重油・電力を主に使用して紙を製造していますが、抄紙の際に多量の水も使用しています。当社では、これら資源を多く使用していることを強く認識し、省エネルギー設備の導入や廃棄物の削減・リサイクルを進めて環境負荷の低減に努めています。



Voice 岡村 陽次さん(紀州工場)

私たち紀州支部では紙製造に関わる環境負荷低減とともに地域への貢献を目指して「企業の森」活動に参加しています。森を通じて地域との出会いを大切にしていきたいです。よろしくお願いいたします。

URL <http://www.kishu.co.jp/envi/>

人にも環境にも優しく

NPO法人原風景

兵庫県氷上市にて、「ふるさと営農体験」と題し名物の黒豆もち米の栽培・収穫及び現地観光を毎年実施し、都市部参加者を募り農村部との交流を図っています(年2回)。5月頃に田植え、黒豆の苗植えを行います。そして10月頃にこれらを収穫し、同時に地域の観光地に立ち寄ります。人にも環境にも優しくというところで農業などはほとんど使わず、苗は手植え、稲の乾燥も天日干しした昔ながらの方法を取り入れています。



Voice

兵頭 弘士さん

日本の古き良き伝統と自然、地域を越えた交流を目的として活動を展開したいと考える我々「原風景」と地域の良さを対外的にもっと知ってもらいたいと願う氷上市の「かどのの里」の人々の意見が合致し、実施に至った企画です。これが「ふるさと営農体験」の始まりでした。山々に囲われたのどかな環境の中でみんな泥まみれになって農作業を行い、互いに親睦を深めます。自然を解した交流の場を今後も広げていきたいと考えています。



未来の子どもたちへのプレゼント

ゲンジの森実行委員会

ゲンジの森実行委員会では、スギ・ヒノキの人工林ばかりになってしまった高野山に、クワガタムシ(高野山周辺では、ミヤマクワガタの雄を「ゲンジ」と呼ぶ)に代表される様々な虫たちや野生動物が暮らす広葉樹の森を、高野山森林公園の一角「ゲンジの森」(約8.2ha)に再生しようと、平成7年から植樹や、草刈り、除伐、間伐、環境教育、人材育成、希少植物の保護増殖など、様々な活動を行っています。

Voice

平成7年に植えた木々は、既に大人の背丈を優に越えるほどに成長し、秋にはすばらしい紅葉を見せてくれるようになってきました。木々の成長に伴い様相を変えていく森の姿。森づくりの醍醐味です。



URL <http://www.kouya.com/sideB/Genji/>

田辺市

URL <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

「企業の森」活動は田辺市で!

田辺市は、紀伊半島の南西側、和歌山県の南部に位置し、東西約45km、南北約46kmで、総面積は1,026km²と、県下最大の広大な面積を有しており、このうち約90%を山林が占めています。

当市は、神秘的で奥深い森林・溪谷、景観の良い海岸などの豊かな自然とそこから生み出される新鮮で豊富な海山川の幸、世界遺産の熊野古道・熊野本宮大社に代表される歴史・文化、龍神温泉・湯の峰・川湯温泉をはじめとする温泉郷や気候や地理的条件等に恵まれた農業・林業・水産業等とその産物を活かした加工業、また観光リゾート産業など多くの地域資源を有しています。



日高川町

URL <http://www.town.hidakagawa.lg.jp/>

備長炭生産量日本一、充実した施設が自慢です。

日高川町は備長炭生産量日本一の町です。町内には、安珍清姫伝説で有名な道成寺や、夜空を楽しむかわべ天文公園、日本一の藤棚があるリフレッシュエリアみやまの里、心身を癒す中津温泉や美山温泉などがあります。その他に、稲刈り、かずら細工、間伐、アマゴ釣りなど四季折々の体験も提供しています。ぜひ一度日高川町にお越しください。



Voice

日高川町は、豊かな自然を生かし都市との交流に力を入れています。あわせて「日高川ファンクラブ」会員も募集中です。年会費1,000円で町内の施設の優待特典が受けられます。お問い合わせは町産業振興課(☎0738-22-2041)まで。

各種体験のお問い合わせはゆめ倶楽部21事務局(☎0738-22-1700)まで。

龍神村森林組合

URL <http://www.ryujin-shinrin.jp/>

龍神の木をふんだんに使ったログハウスのお店ができています。

龍神の木をふんだんに使ったログハウスのお店が、この春オープンしています。当組合のプレカット工場が施工しました。お店の場所は、龍神温泉の少し上流、当組合が経営する道の駅ウッティプラザ木族館のすぐ隣で、小さいですが龍神の木でできたログハウスで、龍神で出来た産品を販売しています。今春、松下電工(株)さんの「ながきの森」記念植樹当日お昼の弁当を作っていたいただいた、女性グループ「龍神は一と」さんが運営しています。木族館同様、龍神にお越しの際はぜひお立ちください。



Voice

日本の森林は、木を使うことで循環、維持管理されています。お店に、別荘に、お住まいに、木を使って環境貢献しませんか。

中津村森林組合

様々な体験を通じて交流を深めています。



中津村森林組合は、企業の森第1号の「ユニチカの森」のお世話をさせていただいています。森林環境整備活動のほかに、梅酒づくり、木工、かずら細工など様々な体験を楽しんでいただいています。植栽された苗木の成長と参画された皆様の笑顔を見守りながら、この活動を末永く続けていきたいと思っています。

Voice

体験に来られた方々から帰路の際にかけていただいた感謝のお言葉に感激しています。この取り組みを多くの方々に知っていただき、活動が広がっていくことを期待しています。

西牟婁森林組合

植林から木材販売まで行っています。



当組合の管内森林面積は36,761 haの山々が広がっており、主要な事業として「森林造成事業」「伐採搬出事業」「木材共販事業」の3事業を柱として、公益的機能を充分発揮できる健全な森づくりを目指しています。他に間伐材の加工工場、また農家の委託による梅の収穫作業の手伝い等、地域住民はもとより都市住民に信頼、支持され循環型社会に貢献できる事業展開を目指しています。

美山村森林組合

企業の森や森林体験学習に取り組んでいます。

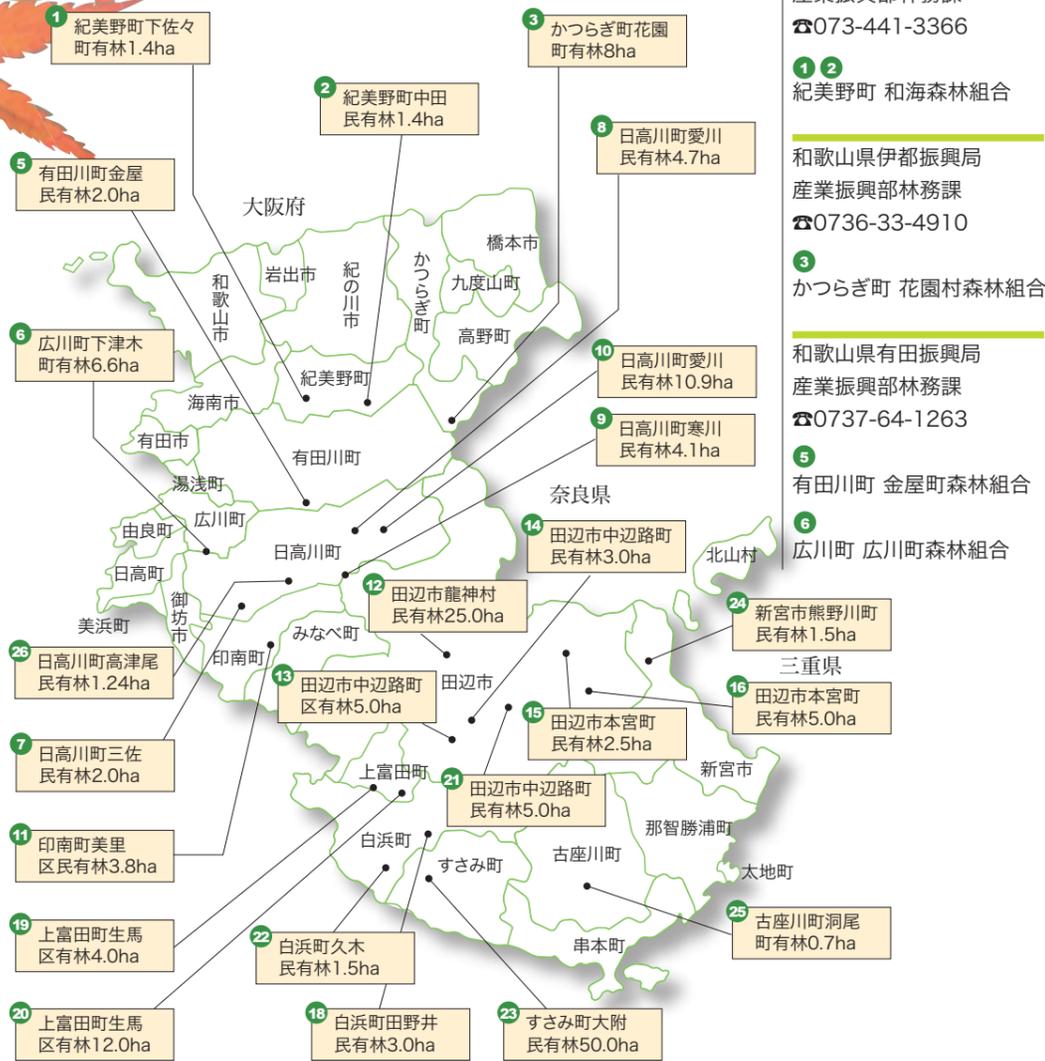
美山村森林組合は、企業の森や森林体験学習に力を入れています。植樹や下刈りの際には、1ターナー者を含めた若い作業員が指導にあたり、安全に作業していただけるように心がけています。この活動に携われることに感謝し、苗木が無事育つよう管理に努めています。



Voice

地域の森林を守り育てる立場にある我々にとって、森づくりに参加された方々の笑顔が何より嬉しく、企業の皆様の参画を大変心強く感じています。

様々な「企業の森」の候補地を用意しています。



- 和歌山県海草振興局 産業振興部林務課 ☎073-441-3366
- 和歌山県日高振興局 産業振興部林務課 ☎0738-24-2912
- 和歌山県伊都振興局 産業振興部林務課 ☎0736-33-4910
- 和歌山県西牟婁振興局 産業振興部林務課 ☎0739-26-7911
- 和歌山県有田振興局 産業振興部林務課 ☎0737-64-1263
- 和歌山県東牟婁振興局 産業振興部林務課 ☎0735-21-9612

2007年10月1日現在

熊野古道 癒しの里 ~近露まるかじり体験~

町中の縁側や軒先、庭などで行われる、なつかしい“里”体感イベント

紀伊田辺から本宮までを結ぶ中辺路ルートの中程に位置する近露は、のんびりとしたどこか懐かしい山里。あったかい人達がイベントやマーケットを開催します。

日時 11月3日(土)9:30~15:00

場所 田辺市中辺路町近露内熊野古道沿道

内容

- ・いけ花展 華道家元らが古道沿いの民家などに展示(11/2~11/8)
- ・まち中マーケット (味)鮎めし、茶がゆ、めはり寿司、亥の子餅など (産品)木工品、リース、雑貨など
- ・体験など いけ花体験(家元指導)、つる籠づくり、もちつき、木工体験、樹齢300年のしだれ桜の下で野点、野中の獅子舞演舞など ※内容は一部変更する場合があります。



主催 熊野古道癒しの里近露まるかじり実行委員会
 ※このイベントにおいて「企業の森」の活動PRを募集しています。ぜひ、ご参加ください。詳しくは下記まで。
 和歌山県 県土整備部 道路局 道路政策課 ☎073-441-3116

中辺路町森林組合

熊野古道周辺地域の整備を積極的に推進



私たち中辺路町森林組合は、緑の雇用事業により、都会から多くのUターン者等を積極的に受け入れ、間伐等の森林整備を推進するとともに、作業道の作設や機械化の推進にも取り組み、伐出コスト削減による森林経営の安定を目指しています。

また、近年では企業の森に対する取り組みにも力を注いでおり、優良材の生産はもとより自然環境保全等を目的とした事業にも積極的に取り組んでいます。

Voice

中辺路町森林組合が経営している喫茶&売店「古道の里・中辺路」では、猪肉・鹿肉・キジ肉・地鶏肉のほか季節のふるさと商品の販売を行っていますので、世界遺産熊野古道の散策など中辺路町にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。

本宮町森林組合

熊野古道周辺の景観保持・保全を推進

田辺市本宮町は、紀伊山地の山々に囲まれた山村で、平安から江戸時代にかけて、皇族をはじめ多くの人々が熊野詣でに通った歴史の道“熊野古道”が通り、近年県内外から大勢の参拝者が訪れています。

森林組合では古道の景観保持・保全を目的とした古道パトロールや周辺森林の整備などを実施しています。

また、林業従事者の家族の中には、古道を訪れる方々へ歴史・文化などを案内する語り部としても活躍の方もいます。

Voice

近年、都会からUターン、Uターンをして林業従事者で頑張っている皆さんをはじめ、企業の森事業で来られる社員、家族の皆さん方と地元住民との交流も深まり、地域が活気づいています。



那智勝浦町森林組合

子どもたちが自然や環境を感じられるように

平成19年3月17日、紀州製紙労働組合紀州支部により「紀州労組虹の森」としてヤマザクラやカシ類、和紙の原料となるミツマタなど11種類の広葉樹250本が植樹されました。この森は植栽に参加してくれたたくさん子どもたちが共に成長していく木々の姿を通じて自然や環境のことを感じられるよう、間伐材を利用した一周約350mの歩道を設置しており、いつでも気軽に訪れることができるようになってきました。



Voice

那智勝浦町森林組合では紀州製紙労働組合紀州支部からの委託で「紀州労組虹の森」の管理や施業の提案・実施を行っています。強風と獣害を心配していましたが、まさにどこ吹く風、木々の成長は順調です。